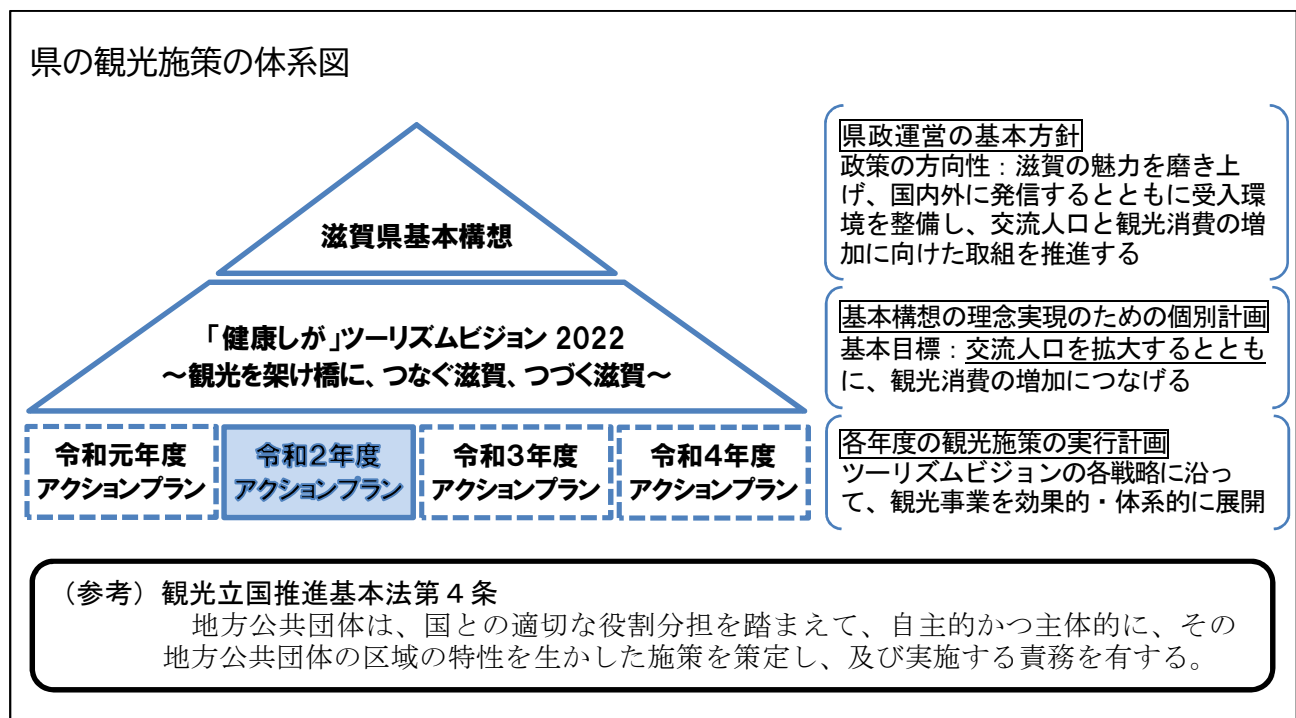


令和2年度「健康しが」ツーリズムビジョンアクションプラン

1 アクションプランの趣旨

滋賀県における観光振興の基本的な考え方を定めた「『健康しが』ツーリズムビジョン2022」（以下、「ツーリズムビジョン」と言います。）に基づき、観光施策を効果的に展開するため、毎年度アクションプランを策定し、県における観光関連事業を体系的に示し、関係者と連携して取組を進めていきます。



2 ツーリズムビジョンが定める滋賀県観光の方向性と課題

(1) 2022年（令和4年）における成果指標

- ・延べ観光入込客数 6000万人
- ・延べ宿泊客数 450万人
- ・観光消費額 2000億円

(2) 滋賀県観光の課題

- ・滋賀ならではの魅力による宿泊・滞在型観光の推進
- ・滋賀の魅力を伝える印象的なビジュアルの作成などによる認知度の向上
- ・滋賀県の自然や歴史、暮らしを体感できる滋賀ならではの観光素材づくり
- ・滋賀に行って食べてみたい、買ってみたいと思う滋賀ならではのモノづくり
- ・地域住民が観光客とともに楽しむ機運の醸成
- ・持続可能な観光を実現できる環境整備

3 滋賀県観光の現状

(1) 滋賀県観光を取り巻く状況

- ・令和元年度は、朝の連続テレビ小説「スカーレット」（令和元年9月～令和2年3月）と連携した「ほっと滋賀色」キャンペーン、および大河ドラマ「麒麟がくる」（令和2年1月～12月）と連携した観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」を展開する中で、各地域で着地型観光プログラムを実施し、また本県観光や物産の魅力を発信したことにより、滋賀の観光への注目が高まってきている。
- ・「ビワイチ」について、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートであるとして、令和元年11月に国のナショナルサイクルルートに指定された。
- ・「ここ滋賀」では、様々な企画催事をほぼ毎日開催する等、首都圏において滋賀県の魅力を発信しており、令和元年9月には来館者数が100万人を超えた。
- ・令和元年6月には、京都にいる個人観光客をターゲットに滋賀への誘客を図る「そこ滋賀」プロジェクトを始動し、また7月には中国湖南省に滋賀県誘客経済促進センターを開所した。
- ・令和元年夏頃から、日韓関係の悪化に伴う訪日韓国人の減少傾向が続いていることに加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う訪日外国人の減少、更に国内も含めた世界的な観光意欲の低減が本県観光にもたらす影響を、注視していく必要がある。

(2) 令和元年度「健康しが」ツーリズムビジョンアクションプラン目標値の達成状況

- ・延べ観光入込客数：5,395万人（目標値 5500万人）
- ・延べ宿泊客数：408万人（目標値 415万人）
- ・観光消費額：2,039億円（目標値 1860億円）

※各数値は、令和元年滋賀県観光入込客統計調査の速報値による

4 令和2年度における観光施策の展開

(1) 施策展開の方向性

- ・令和元年度に引き続き、観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」を展開する。「戦国の近江」をテーマとする特別企画展や映画作品のロケ地をめぐる企画を実施する他、滋賀県初開催となる「お城 EXPO」や初の秋開催となる「びわ湖大花火大会」とも連携して本県への誘客を図り、「戦国」を滋賀観光の柱として定着させる。あわせて、「スカーレット」放送効果をレガシーとして、信楽焼をはじめとした本県物産の振興に取り組む。
- ・観光消費の増加に向けては、観光客の周遊行動を促進し、消費単価を高めることが必要なため、観光公式ホームページを改修して宿泊旅行サイトと連携する他、東北3県との教育旅行相互交流の促進、Wi-Fi データを活用した観光の「見える化」、MaaS を視野に入れた県東北部での観光周遊実践事業、「農泊」の推進や県産食材の魅力発信等により、宿泊・滞在型旅行の推進を図る。
- ・ナショナルサイクルルートに指定された「ビワイチ」については、安全・安心に利用できる環境整備を進めるとともに、滋賀県観光のキーコンテンツとして世界から選ばれるよう推進する。また、「びわ活」をキーワードとして、多くの人に琵琶湖に関わる活動に誘う他、7月にリニューアルオープンを迎える琵琶湖博物館への誘客活動を強化する。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、京都「そこ滋賀」、東京「ここ滋賀」を活用して本県への誘いを強化するとともに、中国湖南省「誘客経済促進センター」を活用した東アジアへのプロモーション、多言語対応アプリの開発や無料 Wi-Fi 環境の整備促進等により、滋賀へのインバウンド拡大につなげていく。

(2) ツーリズムビジョンが定める3の基本戦略および9の戦略に基づく主な事業



基本戦略1 心を動かす体験
 ~「健康しが」ならではの観光素材(モノ・コト)を磨く~

戦略① 健康長寿を支える「食」で誘う(いざなう)

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
「世界農業遺産」プロジェクト推進事業	琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業について、「世界農業遺産」の認定に向けた取組を推進し、強い農林水産業づくり、地域活性化の契機とする。この取組のプロセスを通じて、県産物の高付加価値化や観光資源としての活用等につなげ、滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ。	9,273	(イ)観光消費の活性化
健康長寿日本一の滋賀育ち食材を活かした『滋賀めし』創造事業	「健康長寿日本一の滋賀育ち」の農畜水産物を活かした、滋賀の健康を支える「滋賀めし」を新たなブランドとして発信するとともに、県内の飲食店等において県産食材の魅力を伝える「食のおもてなし」を行うことで、県産食材の利用促進と生産意欲の向上を図り、県産食材の生産振興につなげる。	9,090	(イ)観光消費の活性化
近江の地酒文化普及事業	近江の地酒の魅力を県内外に発信するとともに、首都圏でのイベント開催や新たなファン獲得の取組等を行うことで、近江の地酒への愛着や誇りを醸成し、誘客促進や関係人口の創出、地域活性化につなげていく。	5,983	(オ)観光入込客の増加

戦略② 琵琶湖をはじめとした豊かな自然景観や文化財でストーリーを紡ぐ

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業	本県ゆかりの戦国武将“明智光秀”が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせ、多様な主体が一丸となって取り組む「戦国」をテーマとした観光キャンペーンを展開して、「近江戦国絵巻」として本県の魅力を発信・PRし観光誘客に繋げる。	105,900	(ア)宿泊客数の増加
「びわ湖の日」活動推進事業	多くの人に琵琶湖の価値を認識してもらうため、「びわ湖活」をキーワードに「びわ湖の日」から「山の日」までを琵琶湖に関わる重点期間とし、琵琶湖に関わる多様な活動等にいざなう施策を展開する。	8,354	(オ)観光入込客の増加
歴史文化遺産魅力発信事業	城郭イベント「お城 EXPO」を滋賀県で開催する等により、安土城をはじめとする本県の城郭や、歴史文化遺産の魅力を発信する。	14,624	(オ)観光入込客の増加

戦略③ 暮らし・文化に触れるプログラムやスポーツ・アクティビティで魅せる

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
琵琶湖博物館魅力創造発信事業	博物館のリニューアル効果を高めるため、情報を広く発信するとともに、シンポジウムや県民参加型交流会等の開催による誘客促進の取組を行う。	28,580	(オ)観光入込客の増加
ビワイチ観光推進事業	「ビワイチ」を安心・安全に、多様な人々が楽しめるコンテンツとして確立させるとともに、琵琶湖を中心に県内全体に広がる多様な資源を活かして県内全域への自転車による周遊観光を推進することを通じて、国内外からの来訪促進をはかり、地域活性化へつなげる。	26,720	(イ)観光消費の活性化

基本戦略1 関連事業総額: 1,293 百万円

【主な事業目標】

- ・観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」プログラム参加人数:524 万人
- ・近江の地酒サポーター制度のSNSフォロワー数:1 万人
- ・「滋賀めし」提供・協力事業者数:20 事業者
- ・琵琶湖博物館来館者数:59 万人

(※事業総額は、他の戦略と重複する事業を除く額です)

基本戦略2 心に残る交流

～「おもてなし」で観光・三方よし(訪れてよし、迎えてよし、地域よし)を実現する～

戦略④ 宿泊サービスや朝型・夜型観光で宿泊地としての魅力を高める

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
観光イベント推進事業	観光客の積極的な誘致を図るため、観光誘客が見込める地域主催のイベントに対して助成する。	30,500	(ア)宿泊客数の増加
都市農村交流対策事業	各地で取り組まれている地域資源を活用した都市農村交流活動(農泊)の受入体制整備および魅力向上を目指した研修や活動内容等に関する情報発信を通じて都市と農村との交流を促進し、地域住民等が主体となった持続可能な農村地域の振興と都市住民の農業・農村に対する理解の向上を図る。	1,297	(ア)宿泊客数の増加

戦略⑤ 古くから息づくところで「おもてなし」を深める

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
観光人材育成等地域支援事業	観光まちづくりをPDCAサイクルに基づき、戦略的に事業展開を行い牽引する人材を育成し、観光振興のレベルアップと地域の活性化を目指す。	10,520	(エ)観光満足度の向上

スポーツボランティア支援事業	観客や企業とのつながり、会員組織運営ノウハウ、実践的な活動機会などを有するスポーツクラブ等と連携し、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西等、本県における大規模スポーツ大会等の開催を視野に、多様な場面で活躍いただけるボランティアの育成や活動機会の増加に取り組む。	20,000	(エ)観光満足度の向上
----------------	---	--------	-------------

戦略⑥ すべての人にやさしい交通・滞在環境で迎える

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光振興効果
県域無料 Wi-Fi 整備促進事業	国内外から滋賀への訪問者をはじめ、誰でも手軽に観光地などの訪問先でインターネットが利用できる無料 Wi-Fi 環境の一層の整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図る。	5,647	(エ)観光満足度の向上
「ビワイチ」安全・安心な自転車利用促進事業	「ビワイチ」をはじめ自転車を安全・安心に利用できる環境の構築や事故防止に向けた安全指導の強化、総合的に自転車情報を発信する環境の整備を進めるとともに、路面表示、走行空間整備などを進める。	318,501	(エ)観光満足度の向上

基本戦略2 関連事業総額：426百万円
【主な事業目標】
 ・スポーツボランティア登録者数：累計 2000 人
 ・「びわ湖 Free Wi-Fi」アクセスポイント設置：累計 1560 か所

(※事業総額は、他の戦略と重複する事業を除く額です)

基本戦略3 心を掴む発信
 ～「行きたい」を想起させるイメージを発信する～

戦略⑦ 見どころをビジュアルで発信し、感性に訴える

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光振興効果
「ココクール」魅力発信事業	「ココクール マザーレイク・セレクション」をはじめとする滋賀らしい価値観を持つ商品・サービスを県内外へ広く伝える場を創り、魅力を発信することにより認知度向上を図り、販路拡大および誘客促進に繋げる。	5,500	(イ)観光消費の活性化
映像誘致・ロケ支援事業	「映画・テレビ等の映像を通じて本県の豊かな自然や歴史・文化遺産を広く発信することにより、本県のイメージアップと観光および地域の振興を図る。	3,641	(オ)観光入込客の増加
「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業	本県ゆかりの戦国武将“明智光秀”が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせ、多様な主体が丸となって取り組む「戦国」をテーマとした観光キャンペーンを展開する。滋賀の地場製品の魅力発信とあわせて、本県への観光誘客に繋げる。	(再掲)	(再掲)

戦略⑧ 効果的な場面(とき・ところ)で売り込む

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
ここ滋賀推進事業	滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに滋賀への誘引の役割を担う情報発信拠点「ここ滋賀」を運営する。あわせて、「ここ滋賀」外への販路拡大に向けた支援や、首都圏での滋賀ファンの拡大などにも取り組む。	196,863	(オ)観光 入込客の 増加
滋賀県観光周遊 促進事業	本県への誘客強化と周遊促進に向け、次の取組を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の施設間流動状況を把握して「見える化」する ・びわこビジターズビューローのウェブサイトを改修し、OTA各社と連携した新たなシステムの構築 ・物産を通じた認知度と観光意欲度の向上 ・教育旅行およびコンベンションの誘致 ・米原駅の「広域観光推進拠点化」および「観光周遊の起点化」に向けた取組 	68,199	(ア)宿泊 客数の増 加

戦略⑨ 際立つ体験で外国人観光客を引きつける

事業名	事業概要	予算額 (千円)	主な観光 振興効果
友好州省経済交 流駐在員事業	米国ミシガン州および中国湖南省に経済交流駐在員を配置するとともに、中国湖南省に事務所を設置し、これまで培ってきた強固な関係を活用し、国際経済交流の推進・訪日教育旅行の促進を図る。	14,786	(ウ)外国 人観光客 の増加
国際観光推進事 業	訪日旅行者を本県に誘致するため、訪日外客数上位である東アジアや伸びが大きい東南アジアを中心にプロモーション活動を実施する。併せて、訪日外国人旅行者の多い京都等からの誘客の取組を引き続き実施するほか、パンフレットの充実や多言語アプリ開発など受入環境の向上を図り、更なる外国人観光客の増加を目指す。	47,039	(ウ)外国 人観光客 の増加

基本戦略3 関連事業総額：492百万円

【主な事業目標】

- ・「ここ滋賀」が滋賀県に及ぼす波及効果:13.89億円
- ・県内の教育(修学)旅行宿泊者数:10万人

(※事業総額は、他の戦略と重複する事業を除く額です)

(3) 令和2年度の目標値（成果指標）

- ・より多くの方に滋賀を訪れていただけるよう、滋賀県の観光資源を磨き上げ、その魅力を国内外に発信していきます。

延べ観光入込客数 5700 万人

- ・観光消費の増加に向けて、多くの方が県内で宿泊していただけるよう、観光周遊の促進や、宿泊につながるイベントの実施等に取り組みます。

延べ宿泊客数 430 万人

- ・インバウンドの獲得に向けて、多言語対応等受入環境を整備し、情報発信と誘客活動に取り組みます。

外国人宿泊客数 45 万人

- ・滋賀県観光のキーコンテンツである「ビワイチ」の魅力を国内外に発信し、滋賀への誘いにつなげます。

ビワイチ体験者数 16 万 5 千人

- ・滋賀の観光振興の取組を通じて、地域経済の活性化に寄与します。

観光消費額 2152 億円

(4) 今後更に検討を進める必要がある事項

- ・大河ドラマ放送終了後、その効果を活かしながら、滋賀の観光を次に進めるための施策展開
- ・観光消費の増加に向けて、更に宿泊・滞在型観光を推進するために必要な施策
- ・SDGs の観点から「持続可能な観光」を目指し、新型コロナウイルス感染症の拡大に端を発する国内を含めた世界的な観光意欲低下への対応

(別添)令和2年度「健康しが」ツーリズムビジョンアクションプラン関連事業

基本戦略1 心を動かす体験 ～「健康しが」ならではの観光素材(モノ・コト)を磨く～

戦略① 健康長寿を支える「食」で誘う(いざなう)

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
「発酵産業」成長促進化プロジェクト推進事業	多様な主体でつながるプラットフォームを構築し、発酵を軸とした新たな商品・サービスの創出を支援するとともに、認知度向上に向けた施策を展開する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		24,500	国交付金	商工政策課
近江の地酒文化普及事業	近江の地酒の魅力を県内外に発信するとともに、首都圏でのイベント開催や新たなファン獲得の取組等を行うことで、近江の地酒への愛着や誇りを醸成し、誘客促進や関係人口の創出、地域活性化につなげていく。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		5,983	国交付金	観光振興局
「世界農業遺産」プロジェクト推進事業	琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業について、「世界農業遺産」の認定に向けた取組を推進し、強い農林水産業づくり、地域活性化の契機とする。この取組のプロセスを通じて、県産物の高付加価値化や観光資源としての活用等につなげ、滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		9,273	その他	農政課
健康長寿日本一の滋賀育ち食材を活かした『滋賀めし』創造事業	「健康長寿日本一の滋賀育ち」の農畜水産物を活かした、滋賀の健康を支える「滋賀めし」を新たなブランドとして発信するとともに、県内の飲食店等において県産食材の魅力や伝える「食のおもてなし」を行うことで、県産食材の利用促進と生産意欲の向上を図り、県産食材の生産振興につなげる。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		9,090	国交付金	食のブランド推進課
おいしがうれしが「食」の情報発信総合事業	「地産地消」を推進するため、「おいしがうれしが」キャンペーンへの登録の呼びかけ、情報発信や事業者間交流等を行う。また、滋賀の食材のブランドイメージの向上、地産地消の推進を図るため、滋賀の「食材」の魅力・特徴や「購入できる場所」等の情報について、求められる情報をインターネットでタイムリーに発信する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		7,741	その他	食のブランド推進課
近江米生産・流通ビジョン推進事業	今後の米づくりの指針として策定された「近江米生産・流通ビジョン(H30年3月 近江米振興協会)」の実現に向け、県や関係団体が一丸となった取組を進める。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		25,339		食のブランド推進課 農業経営課
環境こだわり農産物流通拡大事業	環境こだわり農産物の有利販売・流通拡大を目指し、「環境こだわり米コシヒカリ」の集荷・流通促進や高付加価値販売のための取組等に対して支援する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		4,700	国交付金	食のブランド推進課
オーガニック米生産拡大事業	オーガニック米の生産拡大を図るため、乗用型水田除草機の導入支援、収量・品質の安定化に向けた栽培技術の普及を行う。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		5,800	国交付金	食のブランド推進課
オーガニック米等販路開拓事業	関係団体と連携し、まとまった需要が見込める首都圏等において、統一デザインの米袋を用いた「オーガニック近江米」等の販路開拓を進める。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		6,160	国交付金	食のブランド推進課
魚のゆりかご水田米販路開拓事業	首都圏等で魚のゆりかご水田米の販路開拓を進める。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		1,600	国交付金	農村振興課
「しがの水産物」流通拡大対策事業	びわサーモン振興協議会による養殖ビワマス「びわサーモン」のイメージアップや流通拡大の活動に対して支援する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		200		水産課
びわ湖のめぐみ魅力体感事業	地域のネットワーク構築を支援することにより、持続的に湖魚の取扱い情報が発信されるとともに、学校給食に湖魚が提供されることで、湖魚を食べる機会の増加、認知度向上や消費拡大を図る。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		15,215	国交付金	水産課
川の魅力まるごと体感事業	川に親しむ機会がない子育て世代の親子を対象に、川釣りの魅力を感じることでできる機会を創出するとともに、釣り教室の開催など遊漁者の増加に向けた取組に対して支援する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		846		水産課

戦略② 琵琶湖をはじめとした豊かな自然景観や文化財でストーリーを紡ぐ

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
歴史文化遺産魅力発信事業	安土城をはじめとする本県の城郭や、歴史文化遺産の魅力を発信する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	14,624	国交付金	文化財保護課
「びわ湖の日」活動推進事業	多くの人に琵琶湖の価値を認識してもらうため、「びわ湖」をキーワードに「びわ湖の日」から「山の日」までを琵琶湖に関わる重点期間とし、琵琶湖に関わる多様な活動等にいざなう施策を展開する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		8,354		環境政策課
琵琶湖水源の森保全活用事業	長浜市木本町金居原地区をモデルとして、琵琶湖の水源の森の保全を図るとともに、豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムによる持続可能な利用を促進し、森林生態系サービスの持続可能な利用のモデルづくりを行い、今後のエコツアーを担う人材育成や協働の森づくりへの意識高揚を図るため、森林資源・所有境界調査、自然・歴史・文化調査による地域資源の掘り起こし、エコツアーの企画、基盤整備(歩道整備等)、地元ガイド育成のための研修会、エコツアーのモデル的实施等を行う。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)	○	4,300	その他	自然環境保全課
おもしろ下物(おろしも)ピオトープ水辺のにぎわい創生事業	下物ピオトープを南湖におけるピオトープ拠点としてヨシやハスの観察、魚つかみ等の自然と触れ合う場として周辺施設と連携しながら利活用し、丸鳥半島の活性化を図り、水辺のにぎわいを創出する。	⑤(①～④以外で)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		1,016	その他	琵琶湖保全再生課

「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業	本県ゆかりの戦国武将「明智光秀」が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせ、多様な主体が一丸となって取り組む「戦国」をテーマとした観光キャンペーンを展開して、本県の戦国を中心とした魅力を発信・PRし観光誘客に繋げる。	①宿泊客数の増加		105,900	国交付金	観光振興局
日本遺産「琵琶湖魅力」発信事業	日本遺産「琵琶湖とその水辺景観一折りと暮らしの水遺産」を中心とする県内の日本遺産を核とした誘客促進事業を観光キャンペーンなどとも連携しながら実施し、各地域への入込客数を増やし、地域の活性化を図る。	①宿泊客数の増加		4,100	国交付金	観光振興局
「近江の文化財」魅力発信事業	滋賀の文化財の多様な魅力を全国に向けて広く発信し、滋賀への来訪者の拡大を図ることを目的に、「城塞化する寺院」をテーマとして、首都圏での情報発信事業と県内文化財を対象とした探訪交流事業を実施する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		600	国交付金	文化財保護課

戦略③ くらし・文化に触れるプログラムやスポーツ・アクティビティで魅せる

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
アール・ブリュットの魅力発信事業	県民をはじめより多くの方がアール・ブリュットの魅力に触れられるよう、県内施設でのアール・ブリュット作品の展示等を推進する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		3,220	国補助金	文化芸術振興課
アール・ブリュット振興事業	アール・ブリュットに関わる多様な分野の関係者で構成するネットワークの活動を推進する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		2,032	国補助金	文化芸術振興課
琵琶湖文化館後継施設検討事業	琵琶湖文化館の後継施設にかかる基本計画の検討等を行う。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	8,034		文化財保護課
美術館整備事業	「美の滋賀」の発信にかかる検討業務や近代美術館の再開館に向けた準備等を行う。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		278,733		文化芸術振興課
「美の滋賀」プロジェクト推進事業	アートや暮らしの中にある美の資源を活用して、地域を元気にする取組を行う民間団体等へ支援を行うとともに、発信力のあるアートプロジェクトへの発展を図るため、ネットワーク化等を促進する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		10,300	国補助金	文化芸術振興課
みんなで創る美術館プロジェクト事業	県内各地で地域の施設や学校、団体等と連携し、子どもをはじめ多くの県民が美術の魅力に出会い楽しむことができるワークショップや講座などを実施する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		13,845	国補助金	文化芸術振興課
東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を活かし、滋賀ならではの文化の魅力を世界に向けて発信するため、フェスティバル事業や外国人向け文化情報紙の発行などを実施する。	③外国人観光客の増加		10,631	国補助金	文化芸術振興課
東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業	東京オリンピック・パラリンピックに向け、国内外からの訪問者と県民との交流を創出するため、本県や関係市とホストタウン相手国とのスポーツ等を通じた交流事業や、事前合宿の受入れに取り組む。併せて、市町の特色を活かした聖火リレーを着実に実施し、県全体の盛り上げにつなげる。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		108,815		スポーツ課
琵琶湖博物館魅力創造発信事業	博物館のリニューアル効果を高めるため、情報を広く発信するとともに、シンポジウムや県民参加型交流会等の開催による誘客促進の取組を行う。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		28,580	その他	環境政策課(琵琶湖博物館)
琵琶湖博物館展示交流空間再構築事業	「新琵琶湖博物館創造基本計画」に基づき、7月のグランドオープンを目指し、第3期リニューアルとしてA展示室およびB展示室の整備・改修を行う。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		487,300	その他	環境政策課(琵琶湖博物館)
「山を活かす、山を守る、山に暮らす」都市交流モデル事業	森林山村地域を活性化し、人口減少に伴うさまざまな課題を解決するため、森林山村地域の魅力を発見し、都市住民との交流を通じて森林山村地域への就労や定着を支援する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		11,308	国交付金	森林政策課
エコツーリズム推進支援事業	市町等とのネットワークを通じた情報共有等を行うとともに、琵琶湖や自然を体験・体感できるエコツアーモデルコースを作成する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		2,194	その他	琵琶湖保全再生課
みんなでつくる「健康しが」事業	企業・大学・地域団体・自治体などが連携する「健康しが」共創会議を通じて、県民の健康づくりに資する活動の創出・展開を進める。また、健康に関するツーリズム資源の活用を促進する。地域資源の周遊を促すため、「BIWA-TEKU」の活用やモニターツアー等を実施するとともに、ツーリズムの機運醸成のため、統一の啓発資料の作成や地域資源等の担い手を対象とした講演会(フォーラム)を開催する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		15,500	国交付金	健康寿命推進課
障害者アート公募展開推進事業	障害者の社会参加の促進、造形活動の裾野拡大、障害者理解の促進を図るため、在宅の知的障害者や精神障害者など、従来作品展の機会が少なかった県内の造形作品を広く公募し、展覧会を開催する。併せて、心を動かす体験に資する文化プログラムとして内外に発信する。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		4,700	国補助金	障害福祉課
障害者造形活動推進事業	障害のある人の造形作品の紹介にとどまらず、一般アーティストの作品とともに並列して見せる企画展の開催など、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAが行う活動に対し、補助を行う。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		18,000		障害福祉課
びわイチ観光推進事業	「びわイチ」を安心・安全に、多様な人々が楽しめるコンテンツとして確立させるとともに、琵琶湖を中心に県内全体に広がる多様な資源を活かして県内全域への自転車による周遊観光を推進することを通じて、国内外からの来訪促進をはかり、地域活性化へつなげる。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		26,720	国交付金	観光振興局
コンベンション招致事業	国内外の会議や大会等のコンベンションを本県に招致するため、大学や会議主催者、旅行会社関係者等を対象に、滋賀の魅力をPRする。	①宿泊客数の増加		6,218		観光振興局
都市農村交流対策事業	各地で取り組まれている地域資源を活用した都市農村交流活動(農泊)の受入体制整備および魅力向上を目指した研修や活動内容等に関する情報発信を通じて都市と農村との交流を促進し、地域住民等が主体となった持続可能な農村地域の振興と都市住民の農業・農村に対する理解の向上を図る。	①宿泊客数の増加		1,297	国交付金	農村振興課

基本戦略2 心に残る交流 ～「おもてなし」で観光・三方よし(訪れてよし、迎えてよし、地域よし)を実現する～

戦略④ 宿泊サービスや朝型・夜型観光で宿泊地としての魅力を高める

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
観光イベント推進事業	観光客の積極的な誘致を図るため、観光誘客が見込める地域主催のイベントに対して助成する。	①宿泊客数の増加		30,500		観光振興局
コンベンション招致事業(再掲)	国内外の会議や大会等のコンベンションを本県に招致するため、大学や会議主催者、旅行会社関係者等を対象に、滋賀の魅力をPRする。	①宿泊客数の増加		(再掲)		観光振興局
「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業(再掲)	本県ゆかりの戦国武将「明智光秀」が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせ、多様な主体が一丸となって取り組む「戦国」をテーマとした観光キャンペーンを展開して、本県の戦国を中心とした魅力を発信・PRし観光誘客に繋げる。	①宿泊客数の増加		(再掲)		観光振興局
都市農村交流対策事業(再掲)	各地で取り組まれている地域資源を活用した都市農村交流活動(農泊)の受入体制整備および魅力向上を目指した研修や活動内容等に関する情報発信を通じて都市と農村との交流を促進し、地域住民等が主体となった持続可能な農村地域の振興と都市住民の農業・農村に対する理解の向上を図る。	①宿泊客数の増加		(再掲)		農村振興課

戦略⑤ 古くから息づくところで「おもてなし」を深める

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
近江文化発見・発信事業	滋賀ゆかりの文学作品等を通じて、県民が滋賀の歴史・風土・文化・自然等の魅力を改めて認識し、地域への愛着を深めるとともに、その魅力を発信する取組を行う。	⑤(①～④以外)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		3,500	国補助金	文化芸術振興課
近江の宝親子体験事業	多様な体験機会を郷土の誇りに繋げることを目的に、子どもたちが本県の魅力に対する理解と認識を深めるきっかけを提供する。	⑤(①～④以外)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)	○	3,403	国補助金	文化財保護課
スポーツボランティア支援事業	観客や企業とのつながり、会員組織運営ノウハウ、実践的な活動機会などを有するスポーツクラブ等と連携し、ワールドマスターズゲームズ2021関西等、本県における大規模スポーツ大会等の開催を視野に、多様な場面で活躍いただけるボランティアの育成や活動機会の増加に取り組む。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		20,000	国交付金	スポーツ課
「ウェルカム滋賀」推進事業	観光ボランティアガイドの活動により、来訪者を温かく迎える「おもてなし」の向上を図り、地域の活性化や観光振興につなげる。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		250		観光振興局
地域観光活性化支援事業	県内各地域観光振興協議会等の行う観光活性化およびJR等の駅を利用した2次交通アクセスの利便性の向上のための事業を支援し、誘客を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		14,000		観光振興局
観光人材育成等地域支援事業	観光まちづくりをPDCAサイクルに基づき、戦略的に事業展開を行い牽引する人材を育成し、観光振興のレベルアップと地域の活性化を目指す。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		10,520	国交付金	観光振興局
琵琶湖水源の森保全活用事業(再掲)	長浜市木本町人居原地区をモデルとして、琵琶湖の水源の森の保全を図るとともに、豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムによる持続可能な利用を促進し、森林生態系サービスの持続可能な利用のモデルづくりを行い、今後のエコツアーを担う人材育成や協働の森づくりへの意識高揚を図るため、森林資源・所有境界調査、自然・歴史・文化調査による地域資源の掘り起こし、エコツアーの企画、基盤整備(歩道整備等)、地元ガイド育成のための研修会、エコツアーのモデル的实施等を行う。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)	○	(再掲)		自然環境保全課
エコツーリズム推進支援事業(再掲)	市町等とのネットワークを通じた情報共有等を行うとともに、琵琶湖や自然を体験・体感できるエコツアーモデルコースを作成する。	⑤(①～④以外)観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		(再掲)		琵琶湖保全再生課

戦略⑥ すべての人にやさしい交通・滞在環境で迎える

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
県域無料Wi-Fi整備促進事業	国内外から滋賀への訪問者をはじめ、誰でも手軽に観光地などの訪問先でインターネットが利用できる無料Wi-Fi環境の一層の整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		5,647		情報政策課
車椅子利用者等によるバリアフリー調査事業費補助	車椅子利用者等が宿泊施設や公共交通機関に対し合理的配慮やバリアフリーの状況について聞き取り調査を行い、ウェブサイトで公開する。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)	○	4,100	その他	健康福祉政策課
公共交通を活用した観光誘客強化推進事業	明智光秀や石田三成をはじめとする戦国武将や、海外で人気の高い忍者など、滋賀ならではの魅力を有する鉄道旅のコンテンツの磨き上げと海外や関西エリア等の国内向けの発信を強化する。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		15,675	国交付金	交通戦略課
「びわイチ」安全・安心な自転車利用促進事業	「びわイチ」をはじめ自転車を安全・安心に利用できる環境の構築や事故防止に向けた安全指導の強化、総合的に自転車情報を発信する環境の整備を進めるとともに、路面表示、走行空間整備などを進める。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		318,501	国交付金	交通戦略課 道路保全課

基本戦略3 心を掴む発信 ～「行きたい」を想起させるイメージを発信する～

戦略⑦ 見どころをビジュアルで発信し、感性に訴える

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
滋賀の戦略的県外PR事業	首都圏を中心とする県外や海外の方々に対して滋賀の魅力を広め、認知度や好感度を高めるため、本県の魅力的な素材や旬の話題を取り上げ、メディアへの掲載・露出の拡大につながる情報発信を行う。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		20,292	国交付金	広報課
「ココール」魅力発信事業	「ココール マザーレイク・セレクション」をはじめとする滋賀らしい価値観を持つ商品・サービスを県内外へ広く伝える場を創り、魅力を発信することにより認知度向上を図り、販路拡大および誘客促進に繋げる。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		5,500	国交付金	商工政策課
近江の地域産業振興総合支援事業	本県の優れた地域資源である地場産業等の「稼ぐ力」を高め、地方創生の核となる新たな成長産業として育成するため、施策推進協議会の運営を行うとともに、地場産業および地域特産品の振興のため戦略的な取組を支援する。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		24,644	国交付金	モノづくり振興課
観光物産情報発信事業	県内の観光物産関連情報を(公社)びわこビクターズビューローに集約し、情報の一元化を行い発信している観光物産情報ウェブサイトの管理運用を行うとともに、JR西日本等との共同による観光客誘致促進のためのキャンペーンの展開、県域全体の観光案内・観光相談等の業務を行う。 (※予算額は、教育旅行事業、コンベンション誘致推進事業および地域観光活性化支援事業を除く)	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		67,496		観光振興局
映像誘致・ロケ支援事業	映画・テレビ等の映像を通じて本県の豊かな自然や歴史・文化遺産を広く発信することにより、本県のイメージアップと観光および地域の振興を図る。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		3,641		観光振興局
「戦国ワンダーランド 滋賀・びわ湖」観光PR推進事業(再掲)	本県ゆかりの戦国武将「明智光秀」が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせ、多様な主体が一丸となって取り組む「戦国」をテーマとした観光キャンペーンを展開して、本県の戦国を中心とした魅力を発信・PRし観光誘客に繋げる。	①宿泊客数の増加		(再掲)		観光振興局

戦略⑧ 効果的な場面(とき・ところ)で売り込む

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
首都圏ネットワーク活用事業	首都圏の滋賀ゆかりの人や企業、店舗、新たに滋賀とつながる人等との多様なネットワークを拡充・強化し、「ここ滋賀」との相乗効果により、本県への来訪者の増加や関係人口の創出につなげる。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		7,017	国交付金	東京本部
ここ滋賀推進事業	滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに滋賀への誘引の役割を担う情報発信拠点「ここ滋賀」を運営する。あわせて、「ここ滋賀」外への販路拡大に向けた支援や、首都圏での滋賀ファンの拡大などにも取り組む。	⑤(①～④以外)で観光客の増加(滋賀の認知度や観光魅力の向上)		196,863	国交付金	観光振興局
滋賀県観光周遊促進事業	リアルタイムで観光客の施設訪問人数や施設間流動状況を把握することで、観光周遊促進のための施策の機動的実施につなげる。 また、(公社)びわこビクターズビューローのウェブサイト改修による発信力強化、物産を通じた認知度および観光意欲度の向上、教育旅行およびコンベンションの誘致により、本県の認知度向上と観光誘客の強化を図る。 さらに、県唯一の新幹線発着駅である米原駅を活用することで、本県への観光誘客と観光周遊の促進を図るため、米原駅の「広域観光推進拠点化」および「観光周遊の起点化」に向けた取組を進めるとともに、OTA各社と連携し、周遊型観光素材や宿泊プラン、物産品を販売できる新たなシステムを構築する。 (※予算額は、教育旅行事業、コンベンション誘致推進事業および観光物産情報発信事業を除く)	①宿泊客数の増加	○	68,199	国交付金	観光振興局
教育旅行誘致事業	本県への教育旅行誘致を積極的に推進するため、首都圏や九州方面への誘致キャラバンの実施や旅行会社教育担当者現地研修会を開催する。	①宿泊客数の増加		6,950		観光振興局
つなげる！応援店「滋賀の食材」県外プロモーション事業	首都圏や京阪神で「滋賀の食材」を取り扱うホテル・飲食店を滋賀食材の「応援店」と位置づけ、県外飲食店と県内生産者との継続的な関係構築(つながり)をめざし、「応援店」を通じた「滋賀の食材」の認知度向上、消費拡大を図る。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)	○	13,157	国交付金	食のブランド推進課
「ブランド近江牛」流通パワーアップ事業	観光ガイド、デジタルサイネージ等による「近江牛」の広告掲載を行うことにより、近江牛の流通を拡大し、近江牛販売店等関連企業の活性化につなげる。	②観光消費の活性化(飲食、産品購入、体験事業等)		2,492	その他	畜産課

戦略⑨ 際立つ体験で外国人観光客を引きつける

事業名	事業概要	観光振興に寄与する項目	新規	予算額(千円)	財源内訳	担当課
駐日外交団地方視察受入事業	駐日外交団による地方視察ツアーを本県で受入れ、「琵琶湖を中心としたくらし」を大テーマとして本県の魅力を一体的発信することで、本県物産のPRおよび誘客促進に繋がるネットワーク構築を図る。	③外国人観光客の増加	○	796		国際課
友好州省経済交流駐在員事業	米国ミシガン州および中国湖南省に経済交流駐在員を配置するとともに、中国湖南省に事務所を設置し、これまで培ってきた強固な関係を活用し、国際経済交流の推進・訪日教育旅行の促進を図る。	③外国人観光客の増加		14,786		国際課

国際観光推進事業	訪日旅行者を本県に誘致するため、訪日外客数上位である東アジアや伸びが大きい東南アジアを中心にプロモーション活動を実施する。併せて、訪日外国人旅行者の多い京都等からの誘客の取組を引き続き実施するほか、パンフレットの充実や多言語対応など受入環境の向上を図り、更なる外国人観光客の増加を目指す。	③外国人観光客の増加		47,039	国交付金	観光振興局
忍者を活用した観光誘客促進事業	忍者を日本固有の文化資産として情報発信するとともに、国内外からの観光誘客を促進するため、関係自治体等で構成する日本忍者協議会の事業に対して負担金を拠出する。	③外国人観光客の増加		500		観光振興局
世界に広げる「滋賀の食材」海外プロモーション事業	県産農畜水産物の海外展開を促進するため、JETRO等と連携して、海外展示商談会への滋賀県ブース出展等を実施するとともに、アジア等の有望地域へのプロモーションを効果的に実施する。	③外国人観光客の増加	○	12,220	国交付金	食のブランド推進課
県域無料Wi-Fi整備促進事業 (再掲)	国内外から滋賀への訪問者をはじめ、誰でも手軽に観光地などの訪問先でインターネットが利用できる無料Wi-Fi環境の一層の整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図る。	④観光満足度の向上(交通・滞在環境の整備や受入体制の充実)		(再掲)		情報政策課
東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業 (再掲)	東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を活かし、滋賀ならではの文化の魅力を世界に向けて発信するため、フェスティバル事業や外国人向け文化情報紙の発行などを実施する。	③外国人観光客の増加		(再掲)		文化芸術振興課